



リモコン設置工事説明書

TC-H719F-SOEN-FN



2CC020

！注意

この表示を無視して、作業を誤った場合に作業者が、またはその作業後の不具合によって使用者が軽傷を負う可能性や物的損害の発生が想定される内容を示しています。

！注意

- 工事をされる方へのお願い
- 機器を正しく安全に使用していただくためにこの「設置工事説明書」をよくお読みになり、指定された工事を行ってください。工事の際は電気設備基準などの関連法規を遵守してください。
- 本品を指定する機器に使用してください。

■梱包内には下記の商品が入っています。取り付け前にご確認ください。

名 称	形 状	個 数	名 称	形 状	個 数
浴室リモコン		1	固定金具		1
タッピンねじ (M4×25)		2	かんたん接続ガイド		1
フィッシャーラグ (6×25)		2	設定変更説明書		1
Y型端子 (M3用)		2	取扱説明書		1
閉端接続子		2	設置工事説明書		1
				(本紙)	
台所リモコン		1			
固定金具		1			
タッピンねじ (M4×25)		2			
長ねじ (M4×65)		2			
Y型端子 (M3用)		4			
床暖房設定説明書		1			

浴室リモコンの取り付け

△注意 工事前のご注意

■設置場所のご注意

- 低電圧(24V)で防水もしており危険はありませんが、浴室のなるべくお湯、または水がかからない場所で、操作しやすいところに設置してください。

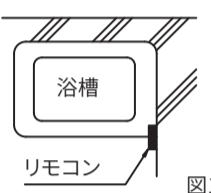


図1

■リモコンコードの配線

- リモコンコードは0.5~1.25Sのキャブタイヤケーブルを必ずご使用ください。
 - リモコンコードを貫通させる壁面は、外側から屋内に上がり勾配で穴を開けケーブルを通した後は防水のためシールしてください。
- 注) リモコンコードは1個のリモコンにつき長さ25m以内で使用してください。25mを超えると、機器の作動不良の原因となります。

△注意 設置工事

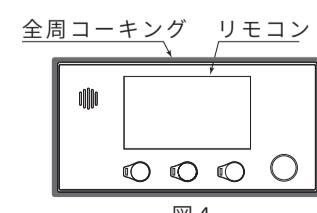
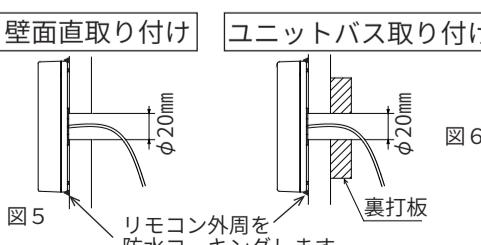
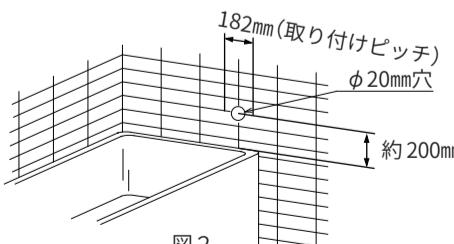
■取り付け上の注意について

- リモコンおよび、それに関連したリモコンコードの取り付け、接続は小勢力回路に該当しますので資格がなくても施工が可能です。工事の際は次の法規、基準に従って設置してください。
 - 電気設備技術基準
 - 電気工事士法
 - 内線規定
 - 電気用品安全法
 - 日本ガス機器検査協会発行の「ガス機器の設置基準及び実務指針」
- リモコンコードは保護のため電線管もしくはCD管を用いて通線することをお薦めします。電線管の内径はφ18mm以上のものを使用してください。
- 電話線、ガス管、水道管との隔離距離（電気設備技術基準 第204条）を守り、リモコンコードが直接接触しないように施工してください。
またAC100V、200V配線、他製品のリモコンコードとの併走および同一電線管内への通線は行わないでください。
- 機器が正常に作動しない場合があります。
- リモコン間の距離が近い場合、ハウリングを起こすことがあります。
通話テストは浴室の扉を閉めた状態で行ってください。
- リモコンコードを途中で中継してリモコンからリモコンへ配線しないでください。1個のリモコンに対し、1本（2心）のリモコンコードを使用してください。機器の故障・作動不良の原因になります。
- くぎ打ちのおそれがある場合には、ケーブルを厚さ1.2mm以上の亜鉛メッキの鋼板にて保護してください。
- リモコンコードは屋外から屋内に向けて、上り勾配になるように通線してください。
- リモコンの外周（図4・5）および防水カバーの外周（図12）のコーキング（壁内部への水の浸入の防止）を行ってください。

※機器本体とリモコンコードの接続方法につきましては、機器本体の設置工事説明書をお読みください。

壁面直取り付け・ユニットバス取り付けの場合

- 壁にφ20mmのリモコンパイプ貫通穴を開けます。
次にリモコン取り付け用の穴を2つ開けます。（図2・3）
- 壁面直取り付けの場合は、φ6mm・深さ30mmの穴を開け、付属のプラグを打ち込みます。（図5）
- ユニットバスの場合は、φ5mmの穴を開け、リモコンが取り付くユニットバス外壁面に裏打板を取り付けます。（図6）



注) リモコンから出ているリモコンコードの位置と壁面の貫通穴を合わせてください。

部品の確認

■梱包内には下記の商品が入っています。取り付け前にご確認ください。

名 称	形 状	個 数
台所リモコン		1
固定金具		1
タッピンねじ (M4×25)		2
長ねじ (M4×65)		2
Y型端子 (M3用)		4
床暖房設定説明書		1

- リモコンコードを7mmほど皮むきして、中継コード（長さ約400mm）の閉端接続子に挿入し、しっかりと圧着します。（図7）
- 固定金具を付属の+ナベタッピンねじ2本で壁に水平になるように固定してください。（図8）
(締め過ぎに注意してください。ドライバーで必ず手回して締め、インパクトドライバーや電気ドライバーは使用しないでください。)
- 裏面パッキンの剥離紙をはがし（図9）、固定金具のツメ（4か所）が確実にリモコンにはまっていることを確認してください。（※コーキングは必ず実施してください。）
- リモコン外周を必ず全周コーキングしてください。（図4・5・6）
コーキングを忘れるリモコン内部に水が入り故障の原因になります。

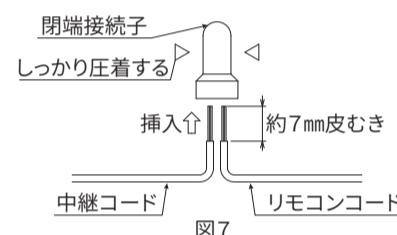


図7

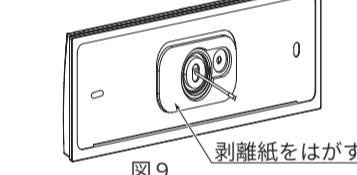


図8

※取り付け後、リモコンを外す必要がある場合は、マイナスドライバーなどを切り欠きに差し込んで外してください。

壁貫通取り付けの場合 下記別売部品を使用します。

別売部品

名 称	部品コード	形 状	用 途
屋外カバーセット	WP000		壁貫通取り付けを行う場合に使用します。

- 壁にφ24mm以上の穴を開けてください。標準タイプの取り付け壁厚は130~205mmです。（図10）

※取り付け壁厚が205mm以上の場合は特注となります。

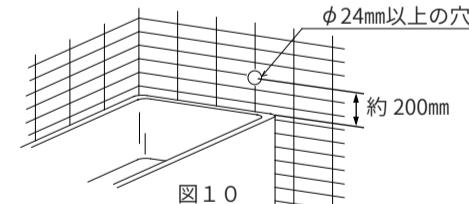


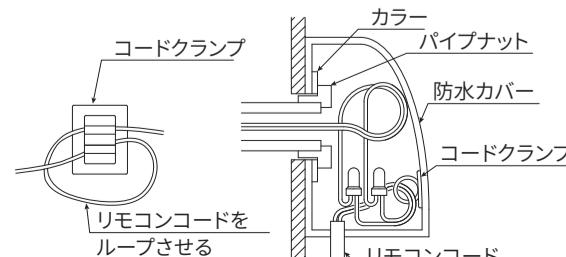
図10

- リモコンパイプにリモコンの中継コードを通し、リモコンにリモコンパイプをねじ込み、取り付けます。（図11）
- リモコンパイプが外壁面より30mmほど出るようにリモコンパイプのねじで長さ調節をして、壁の穴に挿入します。（図11）
- 裏面パッキンの剥離紙をはがし、図4の指定位置にコーキングします。（図4・5・6）
- 屋外で、防水カバーのふたを開け、防水カバー・カラーの順で中継コードおよびリモコンパイプに通します。（図11）
- パイプナットをリモコンパイプに締めつけます。（締め過ぎに注意してください。）（図11）



- リモコンコードを7mmほど皮むきして、閉端接続子に挿入し、しっかりと圧着します。（図7）

- 接続部が防水カバー内に収まるよう、クランプで固定します。
また、防水カバー外周のコーキングを行ってください。（図12）



台所リモコンの取り付け

△注意 工事前のご注意

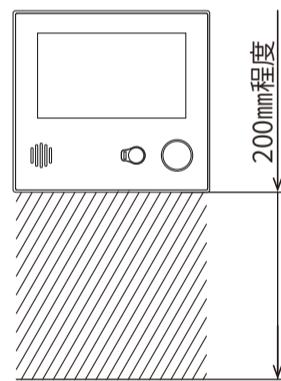
■下記の場所には取り付けないでください。

- 1. 温度の高くなるところ
 - 2. 屋外や直射日光のあたるところ
 - 3. 湿気のかかるところ
 - 4. 水しぶきのかかるところ
 - 5. 油のかかるところ
 - 6. 幼児の手の届くところ
 - 7. 浴室
- ねじを締めつける際、強く締めすぎますとリモコンや固定金具が変形するおそれがあるため、電気ドライバーやインパクトドライバーは使用しないでください。
- リモコンに金属くずが付着したり、石膏ボードくずや微細なカスが入ったりしないように、壁に取り付ける直前に袋から取り出す。
- リモコンに金属くずが付着すると音割れなどの原因になります。
- リモコンコード(別売部品)の配線
- 1. リモコンコードは1つのリモコンにつき長さ25m以内で使用してください。25mを超えると、機器の作動不良の原因となります。
 - 2. リモコンコードを貫通させる壁面は、屋外側から上がり勾配で穴を開け、コードを通した後は防水のためシールしてください。
- AUX端子(Φ3.5外部入力端子)の抜き差しができるように下側には100mm程度の十分なスペースを設けてください。

△注意 設置工事

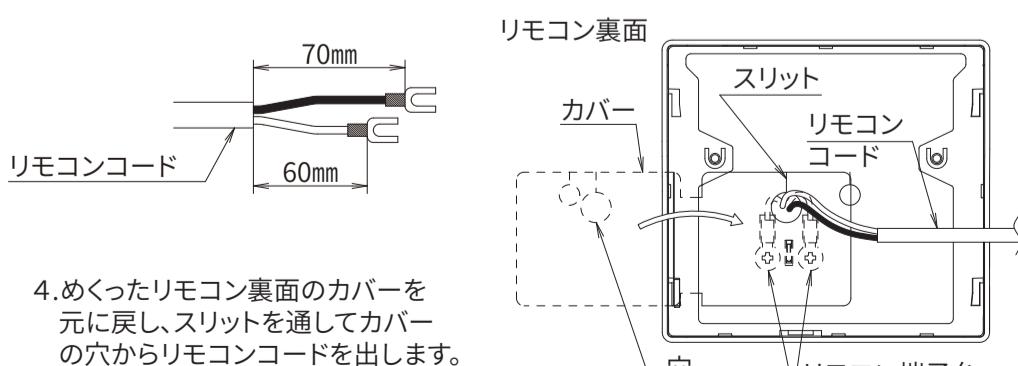
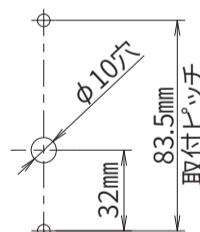
■取付上の注意について

- 1. リモコンコードは保護のため電線管もしくはCD管を用いて通線することをおすすめします。電線管の内径はΦ18mm以上のものを使用してください。
- 2. リモコンコードは他の製品のリモコンコードや他の電気製品の電源コードとの併走は行わないでください。機器が正常に作動しない場合があります。
- 3. リモコンコードを途中で中継してリモコンからリモコンへ配線しないでください。1つのリモコンに対し、1本(2芯)のリモコンコードを使用してください。機器の故障・作動不良の原因になります。
- 4. 壁面よりリモコンコードが十分な長さで引き出されていることを確認してください。
- 5. リモコンコードのY型端子は樹脂スリーブ付(付属品)を使用してください。
- 6. リモコン間の距離が近い場合、ハウリングを起こすことがあります。通話テストは浴室の扉を閉めた状態で行ってください。
- 7. 台所リモコンは無線子機を持つドアホンなど常時電波を発生する機器の近くに設置しないでください。ミュージック機能や通話機能を使用するときに、浴室リモコンから雑音が聞こえることがあります。やむを得ず設置する場合は、電波がリモコンに悪影響を与えないかどうかを現地確認の上、設置場所を決めてください。
- 8. AUX端子(Φ3.5外部入力端子)の抜き差しができるように下側には200mm程度のスペースを設けてください。

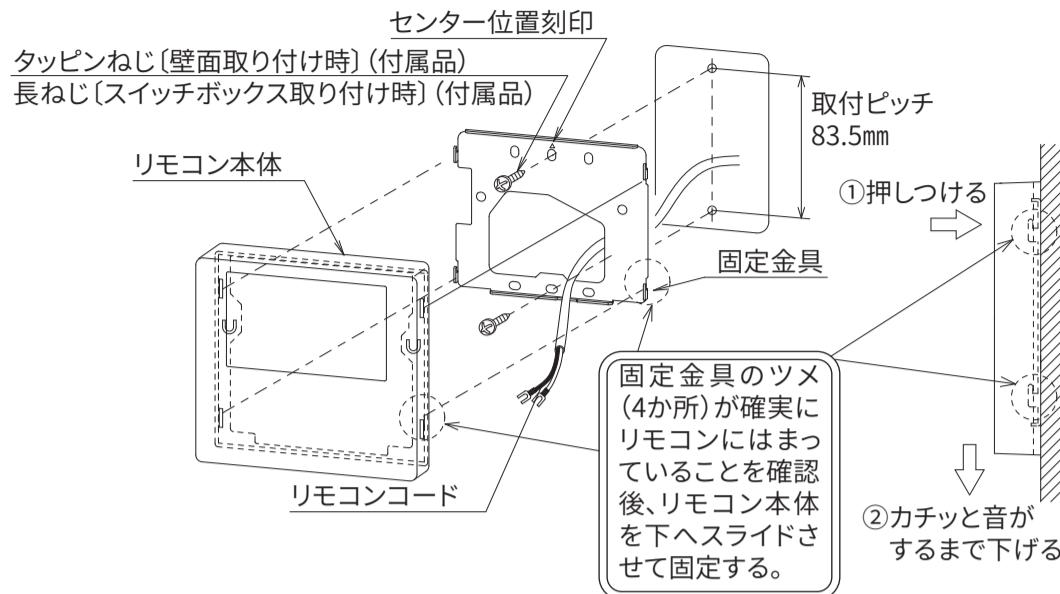


リモコンコード後出しおよびスイッチボックスへの取り付けの場合

1. リモコンコード後出しの場合は、Φ10mm以上の穴を壁面に開けてください。
スイッチボックス取り付けの場合は、スイッチボックスを取付箇所に取り付けてください。
※加工した穴のまわりやスイッチボックスまわりの加工くずは、必ず取り除いてください。
2. 固定金具を壁面に取り付ける場合は、付属のタッピンねじ2本で固定してください。
スイッチボックスへ取り付ける場合は、付属の長ねじで固定してください。
(ねじはドライバーで手回しで締め、インパクトドライバーは使用しないでください)
この際、水平器を用いて固定金具が水平になるように取り付けてください。
3. リモコンコードの皮をむき(下図寸法)、固定金具の開口部に通します。
リモコン裏面のカバーをめくり、端子台のねじ2本をゆるめてリモコンコードのY型端子を接続します。
(ねじはドライバーで手回しで締め、インパクトドライバーは使用しないでください)



5. リモコン本体を固定金具に引っ掛けます。センター位置の刻印を目安にしてリモコン本体と固定金具ツメの位置を合わせ、①リモコン本体を壁面にやや押しつけるようにしながら、②約5mm程度下方向へスライドさせます。(カチッと音がするまで下げる)

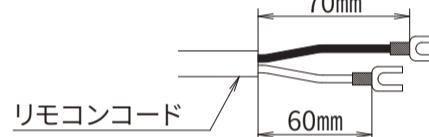


6. リモコン本体が固定金具に確実に取り付けられていることを確認してください。

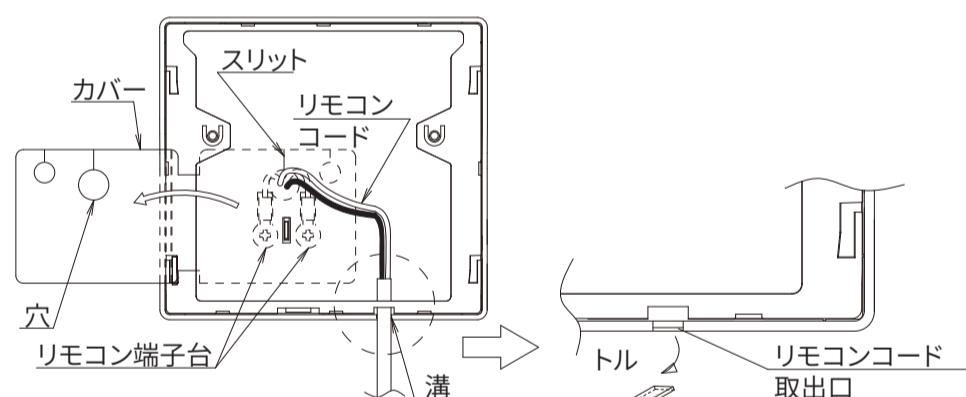
リモコンコード下出しの場合

1. 固定金具を付属のタッピンねじ2本で壁に固定してください。
(ねじはドライバーで手回しで締め、インパクトドライバーは使用しないでください)
この際、水平器を用いて固定金具が水平になるように取り付けてください。

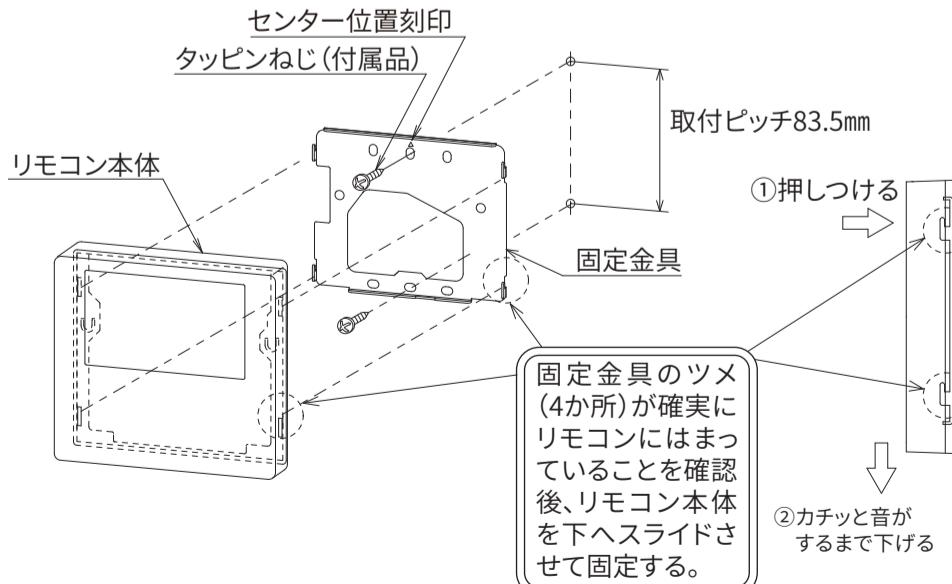
2. リモコンコードの皮をむきます。(下図寸法)



3. リモコン裏面のカバーをめくり、端子台のねじ2本をゆるめてリモコンコードのY型端子を接続します。
(ねじはドライバーで手回しで締め、インパクトドライバーは使用しないでください)
リモコンコードは溝(取出口)を通し下方に出します。
このとき化粧枠の膜(取出口)をペンチ等で取り除いてください。



4. めくったリモコン裏面のカバーを元に戻し、リモコン本体を固定金具に引っ掛けます。センター位置の刻印を目安にしてリモコン本体と固定金具ツメの位置を合わせ、①リモコン本体を壁面にやや押しつけるようにしながら、②約5mm程度下方向へスライドさせます。(カチッと音がするまで下げる)



※石膏ボードに取り付けの際は、Φ8mmの下穴を開け、別売の樹脂カールプラグ(部品コード WP001:2個入)を必ずご使用ください。

5. リモコン本体が固定金具に確実に取り付けられていることを確認してください。

機器本体とリモコンコードの接続方法につきましては、機器本体の設置工事説明書もお読みください。

ネットワークかんたん接続ガイド

QR
2CC021

リモコンを無線でルータまたは有線でルータに接続いただくと、以下の機能がご利用いただけます。
・スマートフォンアプリからの床暖房やお湯はりの遠隔操作。・エネファームに異常が発生した場合のお知らせ。

スマートフォンアプリについての詳細は以下のホームページをご覧ください。

<http://iot-gas.jp/manual/enefarmapp20/t/>

左のQRコードを読み込むと上記ホームページに移動します。

リモコンを無線でルータまたは有線でルータに接続する際の同意事項

この製品をインターネットに接続すると、機器の稼働状況や機器が計測したエネルギーデータなどをサーバへ自動的に送信します。これらの情報は給湯器の運転状況の見守りや、商品、サービスの開発、改良などの目的で使用されます。ご同意していただいたうえで、リモコンと無線でルータまたは有線でルータへの接続設定を行ってください。

◆事前確認事項

1 インターネット環境の確認

- 常時接続のインターネット環境があること。
- ルータを経由してインターネットに接続できる環境があること。

2 無線LANルータの無線機能確認

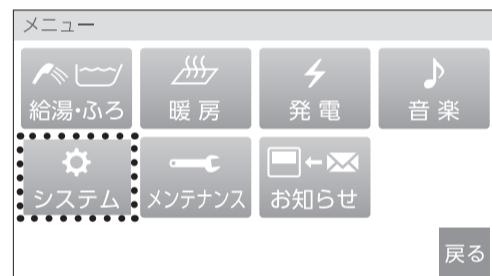
- 【必須】IEEE802.11bまたはg,n(nは2.4GHz帯のみ)に対応していること。(b,g,nなどと表記されている場合もあります。)
※無線LANルータの本体(側面や底面)に貼り付けされているシールやパッケージの表示で確認できます。詳細は無線LANルータの説明書をご確認ください。
- 【必須】WPA2もしくはWPAの暗号化方式に対応していること。
- 【推奨】自動接続設定用のプッシュボタンがあること。(設定が簡単になります。)
★自動接続設定用のプッシュボタンには次のような名称があります。 WPS/AOSS2またはAOSS/らくらく無線スタート
※自動接続設定用のプッシュボタンがない場合の接続方法については、取扱説明書をご覧ください。

◆リモコンとルータの接続

1 給湯・ふろトップ画面にて「メニュー」ボタンをタッチしてください。



「システム」ボタンをタッチしてください。



「ネットワーク」ボタンをタッチしてください。

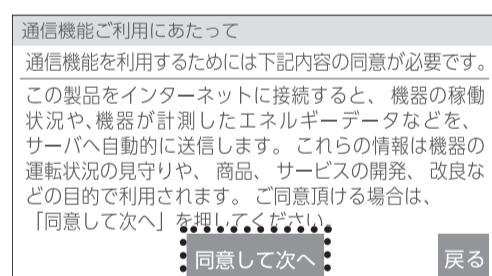


無線でルータに接続する

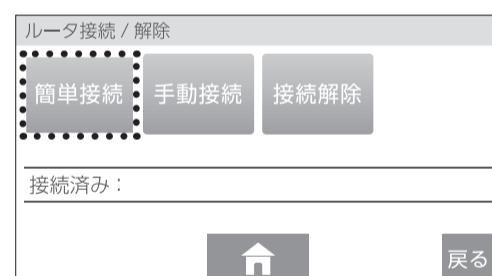
2 「ルータ接続/解除」ボタンをタッチしてください。



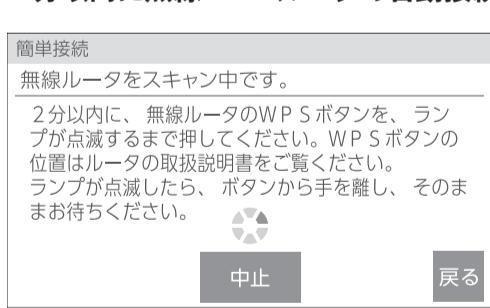
「同意して次へ」ボタンをタッチしてください。



「簡単接続」ボタンをタッチしてください。



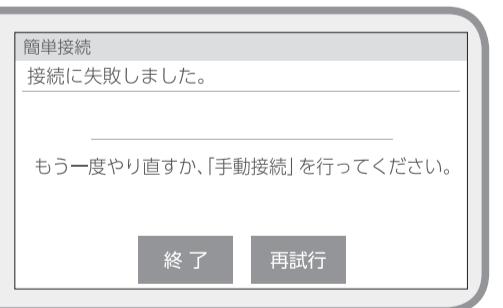
3 2分以内に無線LANルータの自動接続設定用のプッシュボタンを押してください。



接続失敗

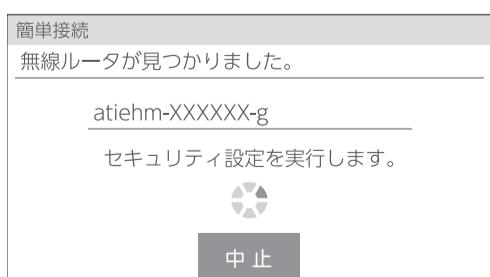
接続に失敗すると右の画面を表示します。

もう一度やり直す場合は、事前確認事項を再度確認し、操作を行ってください。



接続成功

ルータが見つかると以下の画面を表示します



「終了」ボタンをタッチしてください。



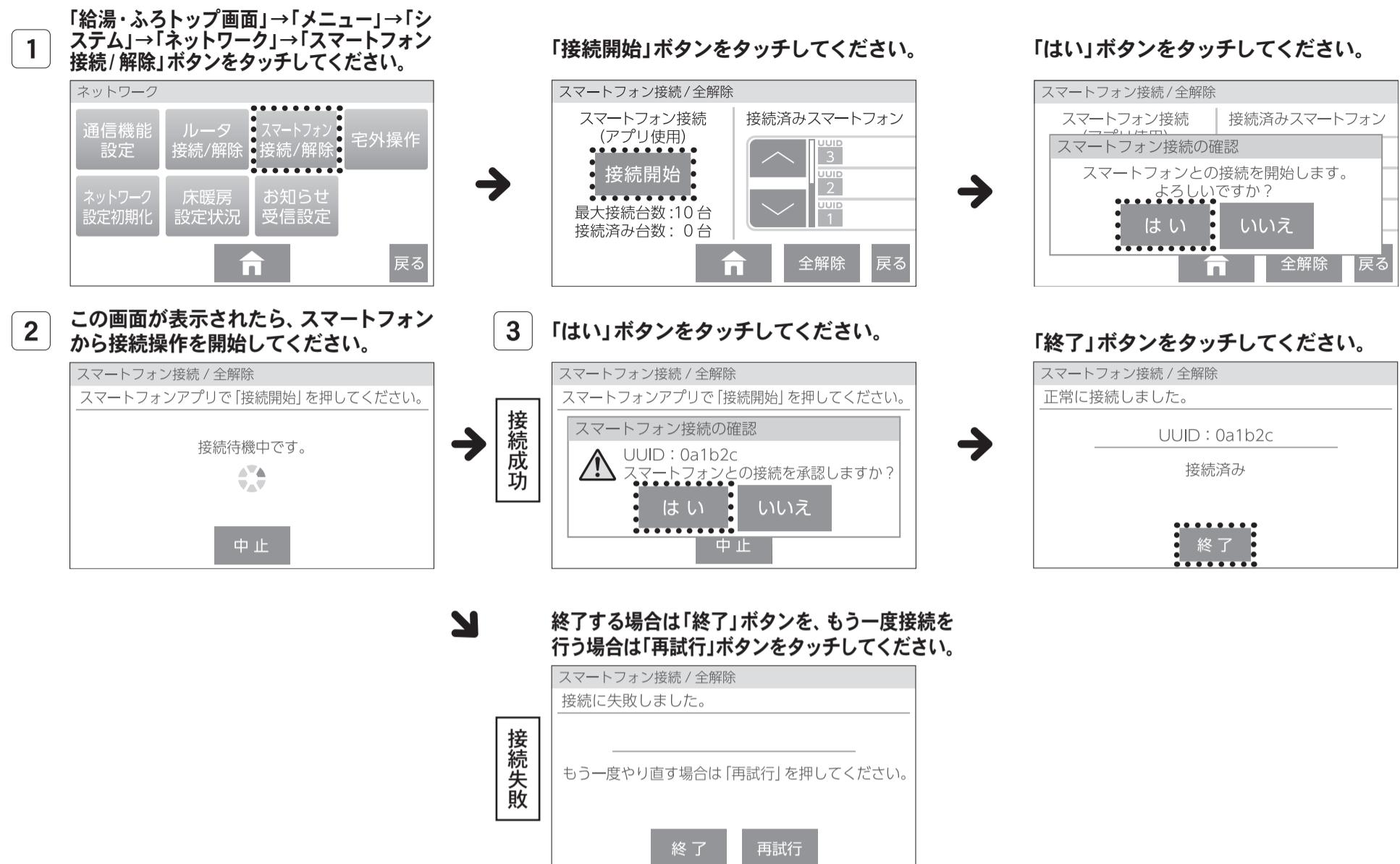
トップ画面の情報バーにWi-Fiアイコンを表示します



有線でルータに接続する

有線LANで接続する場合はリモコンの取扱説明書の「ネットワークを利用する」の「有線でルータとリモコンを接続する」を参照してください。

◆スマートフォンとリモコンの接続…●スマートフォンアプリ側の準備を行ってください。●スマートフォンアプリについての詳細は表面を参照してください。



◆宅外からの操作…●アプリで宅外から操作を行う場合、事前に宅外操作の設定をONにしておく必要があります。



注意事項

- ※台所リモコンに内蔵された通信モジュールのソフトをサーバから自動的にダウンロードし、更新する場合があります。
- ※燃料電池ユニットのソフトウェアをサーバから自動的にダウンロードし、更新する場合があります。
- ※スマートフォンと無線LANルータまたはLANケーブルはお客様にてご準備ください。
- ※ご使用の無線LANルータ、スマートフォン、通信環境によってはご利用できない場合があります。
- ※サービスのご利用には、常時接続のインターネット環境と通信環境が必要です。(モバイルルータやテザリング等ではご利用いただけません)
- ※インターネット、スマートフォンのご利用に関わる料金はお客様ご自身でお支払いください。
- ※サービス内容などは予告なく変更することがあります。
- 宅外操作**
- ※スマートフォンアプリがしばらく使用されなかった場合、「宅外からの操作」が自動で「OFF」になる場合があります。
- 遠隔操作**
- ※リモコンの運転スイッチが「切」になっている場合は、スマートフォンなどからふろ自動の「ON」ができません。
- ※スマートフォンなどから床暖房専用リモコンを操作するためには、2001年9月以降発売のインテリジェント通信対応の床暖房リモコンが設置されている必要があります。